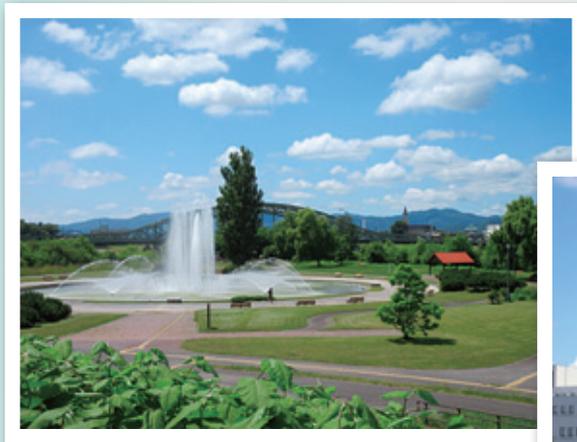




第15号
2020年8月
発行

きらきら星

市立旭川病院だより



噴水と病院と青い空（7月14日撮影 広報委員会）

目次	公式 YouTube（ユーチューブ）アカウントを開設！	2
	新型コロナウイルス感染症 ～よくわかるQ&A～	2
	公式 SNS のご案内	4
	入院時のCSセット（ケアサポートセット）の導入について	4
	あさひかわ安心つながり手帳をご存じですか？	5
	アトリウムでの展示のご紹介	5
	地域がん診療連携拠点病院としての取組	6
	せん妄（せんもう）について	8

きらきら星について

市立病院があるのは金星町。
金星はヴィーナス（美の女神）です。皆さんに
きらきら輝いてほしいとの願いを込めました。

発行

市立旭川病院広報委員会
旭川市金星町1丁目1番65号 ☎(0166) 24-3181
経営管理課 内線 5513 地域医療連携課 内線 5373

公式 YouTube アカウントを開設！ ユーチューブ

市立旭川病院の情報や取組を更に幅広くお知らせするために **YouTube** (ユーチューブ) アカウントを開設しました。皆さまのお役にたてるように様々な動画を発信していきます。ぜひ、チャンネル登録をお願いします。

初めての公式動画として、「開院 90 周年記念事業WEB 市民公開講座 新型コロナウイルス感染症～よくわかるQ & A～」を配信しました。当院は地域で唯一の感染症病床を持つ「感染症指定医療機関」であり、中心になって対応に当たっている柿木副院長が解説しています。

内容の一部をこの紙面でご紹介しますので、感染予防の参考になさってください。

新型コロナウイルス感染症

～よくわかるQ & A～

市立旭川病院 副院長 (血液内科)
柿 木 康 孝



Q1 新型コロナウイルス感染症の潜伏期間は？

A1 ウイルスに感染してから発症まで平均5日といわれています。最長で14日程度と考えられています。しかし、感染しても症状がない人もいます。

Q2 発症したらどんな症状がでるの？

A2 発熱、せき、倦怠感、頭痛、筋肉痛、下痢、味覚・嗅覚障害などです。コロナに特徴的な症状はないのですが、しいてあげれば、発熱が続いたり、倦怠感が長引くと言えます。

Q3 どうやってうつるの？

A3 ひまつかんせん 飛沫感染 せつしよくかんせん または接触感染です。

飛沫は口から飛び出す細かい水滴のことです。飛沫に含まれるウイルスが眼・鼻・口から侵入することによって感染します。対面で5分会話すると、せき1回と同じ飛沫量になるという調査もあります。

接触感染では、例えば手にウイルスがついている人と握手することでこちらの手にもウイルスがついたり、ウイルスが付着した物に触れることでウイルスが手につ

手洗いの順序



日本環境感染学会教育ツール Ver.3 より引用

きます。この手についたウイルスが、手で鼻を触ったり、眼をこすったり、手でお菓子などを食べるなどを介して、眼・鼻・口から侵入するのです。

ウイルスは、金属、ガラス、プラスチックなどの表面で最大9日間活性を保っていた（感染力があった）という研究があります。

Q4 感染から守るべき部位は？

A4 眼、鼻、口といったウイルスの侵入部位を守ります。そのためにマスク、ゴーグル、フェイスシールドを使用します。また、手をきれいにすることが重要であり、手袋を装着したり、手洗い、手指消毒を徹底します。

Q5 マスクの効果ってどうなの？

A5 世界保健機関（WHO）は「感染している人自身がマスク着用すると感染拡大防止に効果がある」、アメリカ疾病予防管理センター（CDC）は「周囲と距離をとりづらい場所ではマスクの着用を推奨する」と言っています。人にうつすことを防ぐ効果はありますが、うつされることを防ぐ効果は限定的と考えられています。

Q6 布マスクの効果は？

A6 自分の口から飛沫の飛散を防ぐ効果はあります。また、ウイルスが付着しているかもしれない手が口や鼻に触れるのを防ぐことができます。

Q7 新型コロナ感染予防の基本について

A7 「人との距離をとる」と「対面時間を短く」に配慮しましょう。

ソーシャルディスタンスが呼びかけられており、人との距離を1～2メートルあけます。会話は15分以内で、お互いマスクを着用して対面での会話を避けるようにします。



市立旭川病院の職員有志バンドによる
「Enjoy Home Concert」
 の動画も配信しています。どうぞご覧ください。



市立旭川病院 公式SNSのご案内

公式YouTube (ユーチューブ)

イベントや採用試験などの各種お知らせのほか、WEB版市民公開講座など動画ならではのコンテンツを発信します。



公式Facebook (フェイスブック)

イベントや採用試験などの各種お知らせを発信します。「いいね！」やシェアをお願いします。



診療時間や受診案内などの情報は

市立旭川病院 公式ホームページから

市立旭川病院



入院時の **CSセット** (ケアサポートセット) の導入について

市立旭川病院では、令和2年7月1日から「CSセット」を導入しました。

CSセットとは、入院の際に必要な衣類・タオル類・日用品・紙おむつ類を日額定額制のレンタルでご利用いただけるサービスです。これにより、入院される患者様とご家族へのサービス向上を図るとともに、院内外の感染予防対策や院内の清潔保持を推進したいと考えています。

CSセットのメリット

- ① 入院時に購入・準備していただく物品が少なくなり、寝巻・タオル類等の洗濯や補充の手間がありません。常に清潔なものをご用意できますので、患者様の身の回りにおける衛生環境をさらに向上させることができます。
- ② 紙おむつのプランも日額定額制であり、一時的な体調の変化で使用枚数が増えた場合でも1日の料金は変わりません。排泄ケアの向上を目的とした紙おむつを使用していますので、おむつかぶれやムレを防止することができます。
- ③ BOXティッシュ等の日用消耗品や口腔ケア用品等について、CSセットのサービス品としてお使いいただけますので、別に購入される必要はありません。

CSセットの利用については看護師からご案内いたします。CSセットは患者様と運営管理会社との直接契約によりご利用いただく方式となっています。

(看護部)

あさひかわ安心つながり手帳をご存じですか？

旭川市では、介護保険サービスを利用されている方に、「あさひかわ安心つながり手帳」を発行しています。利用されている医療機関や介護事業所等が記載されることにより、医療・介護関係者が円滑に連携して支援を行うことを目的としたものです。また、手帳のビニールカバーに被保険者証、診察券、お薬手帳などを収納できる便利につくりになっています。

手帳は、旭川市にお住まいで介護保険サービスをご利用の方に、担当のケアマネジャーから配付されます。急な入院時などに様々な情報が詰まったこの手帳をお持ちになると、医療と介護の関係者がつながるために役立ちます。

当院の医療福祉相談室（旭川市在宅医療・介護連携相談窓口）に手帳の見本がありますので、参考にご覧いただけます。
（地域医療連携課）



アトリウムでの展示のご紹介

当院では、外来棟1階のアトリウムで様々な展示を行っています。特に今年度は開院90周年ということもあって多くの企画を実施・計画しているところです。

アトリウムは広く地域住民の皆様にご覧いただくことができますので、ご希望の方はお問い合わせください。
（経営管理課管理係）



開院90周年記念 写真パネル展「市立旭川病院の取組」「新型コロナウイルス感染拡大防止のために」



日本花き振興協議会、日本花き卸売市場協会北海道支所提供のお花



風景写真家 布施義則写真展「湖の想い」



旭川パラスポーツ協会による障がい者スポーツに関する展示



地域がん診療連携拠点病院としての取組

※アトリウムでのパネル展示（7～8月）の内容を編集して掲載します。

がん診療連携拠点病院は、がん診療・がん対策を強化するために国が一定レベルの要件を満たす病院を地域の拠点として指定するものです。全道で20か所、旭川では3か所が指定されています。

当院は、平成21年から指定を受けて、多くのがん患者さんの治療に当たるとともに、地域のがん診療水準の向上に努めてきました。

1 がんの治療について

がん治療の柱は、手術療法・放射線治療・薬物療法です。当院ではこれら3つの柱をすべて院内で行うことができます。

消化器内科では消化管がんの精密診断及び最新の内視鏡治療を積極的に行っています。外科では出血や合併症が少ない腹腔鏡・胸腔鏡による鏡視下手術を多く手がけています。

2 手術支援ロボットでの手術

平成26年から最先端のダヴィンチ手術（ロボット支援下腹腔鏡手術）を導入しています。ダヴィンチでは、操作する医師は手術部位を明瞭に視認しながら、人の手の機能を超えた精密で安定した機器の動きにより手術を行うことができます。より低侵襲（身体への負担が少ない）の手術が可能になっています。

本年7月から、手術支援ロボットダヴィンチが新しい機種になりました。これまで当院では、泌尿器科での前立腺がんや腎臓がん等の手術に使用してきました。今後は外科の手術でも使用する予定です。

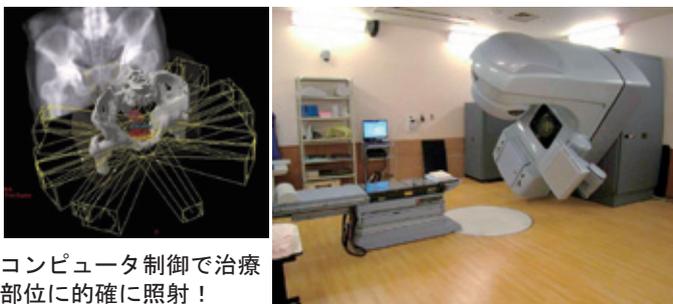


3 放射線治療と薬物療法

放射線治療は、リニアック（直線加速器）と呼ばれる装置で行います。放射線をピンポイントでがん照射し、正常組織への影響を低減できます。

抗がん剤による治療は、患者さんの状況に応じて入院または外来で行います。化学療法センターでは、認定看護師が患者さんを親身にサポートします。

放射線治療装置 リニアック



コンピュータ制御で治療部位に的確に照射！

化学療法センター

リラックスして治療が受けられるよう、診療科と離れた外来棟4階に位置し、ベッドやリクライニングチェアを用意しています。



4 がん治療と地域連携

地域のクリニック等から患者さんの紹介を受けて精査・治療し、急性期の治療を終えたあとはクリニックで日頃の管理をしていただく医療連携を推進しています。また、道北地域など広域・遠隔の医療機関との連携や、市内の基幹病院等とも日常的に連携して、患者さんに切れ目なく適切な医療を提供できるように努めています。

5 がん相談支援センター

がんに関する様々な相談をお受けする「がん相談支援センター」を設置しています。看護師・医療ソーシャルワーカーがお話を伺って対応いたしますので、お気軽にご相談ください。当院の患者さんでなくても、どなたでもご利用いただけます。

また、「がん患者サロン ひまわり」を開設したり、患者会と連携して活動を支援するなど、患者・家族に寄り添った取組を進めています。

6 がん患者サロン ひまわり

当院では、がん患者さん・ご家族の情報交換・学習・交流の場として、『がん患者サロン ひまわり』を月1回開催しています。

日 時：月1回 第4水曜日 13時～15時

場 所：外来棟4階 集団指導室



リンパ浮腫の圧迫療法について



笑いヨガ

7 患者会との連携・協力

血液疾患患者と家族の会 いちご会

対象：血液疾患患者さんご家族
内容：いちご会は、患者さんやそのご家族の闘病を精神面で支え、共に歩む活動をしています

連絡先：E-Mail ichigo@ahmic21.ne.jp
電話 当院のがん相談支援センター



市立旭川病院 乳がん患者会 **あるる**

対象：当院に通院・入院中の乳がんの方
内容：これから「乳がん」と向き合う方や現在治療中の方と病院専門スタッフ間で、ゆったりとした気持ちでおしゃべりしてみませんか？

連絡先：当院のがん相談支援センター

前立腺がん患者の会 PSA北海道

対象：前立腺がん患者さんご家族
内容：想いを語り合える患者サロン・交流会の開催・地域社会に前立腺がんに関する情報を発信する啓発活動を行っています。

連絡先：当院のがん相談支援センター



8 緩和ケアの推進

多職種の力で緩和ケアを推進するために緩和ケアチームを組んで活動しています。チーム員は、医師・歯科医師・薬剤師・理学療法士・管理栄養士・看護師・医療ソーシャルワーカーです。

患者さん・ご家族への緩和ケアの提供のほか、院内・院外の医療従事者向けに緩和ケア勉強会を開催しています。昨年度は4回開催して217名が参加しました。これからも地域の緩和ケアの推進に貢献したいと考えています。

(地域医療連携課)



精神科認定看護師は、精神科の看護領域においてすぐれた看護技術と知識を用いて質の高い看護を実践できる看護師を養成するとともに、看護現場における看護のケアの質を向上させることを目的として一般社団法人日本精神科看護協会により認定された看護師です。

せん妄（せんもう）について



精神科認定看護師 福本 きよみ

入院や手術を受けた患者さんの様子がいつもと変わり、ご家族が「急におかしなことを言って日にちも分からなくなった。ひどい認知症になったのだろうか」「この状態が続いていくのだろうか」と不安になることがあるかもしれません。このような患者さんの状態は「せん妄」の可能性があり
ます。

せん妄とは？

せん妄は、脱水、感染、貧血、薬物など、体に何らかの負担がかかった時に生じる脳の機能の乱れ（意識障害）といわれています。そのため、「気の持ちよう」や「こころの問題」ではありません。急に認知症になってしまったとか精神疾患になったわけでもありません。体の症状の1つであり、適切な対応や治療により症状が改善するといわれています。

せん妄のときの变化や特徴

- 意識がくもってぼんやりとしている。
- もうろうとして話のつじつまが合わない。
- そわそわとして落ち着きがない。
- 朝と夜をまちがえる、病院と家をまちがえる、家族のことが分からない。
- 治療していることを忘れて、点滴などのチューブを抜いてしまう。
- おこりっぽくなり、興奮する。
- 周りの人には見えないものを見えると言ったり（幻視）、ありえないことを言う（妄想）。
- 夜、眠らない。
- 症状は急に生じたり、夜になると症状が激しくなることが多い。

せん妄の治療

せん妄は、体への負担を原因とする脳の機能の乱れであるため、負担となった体の状態をとりのぞくことが治療の基本になります。

- 脳の乱れを改善する治療薬を使うこともあります。
 - 安全に安心して治療が受けられるように環境を整えます。
- ※やむを得ず安全のために、体動センサーやミトン等を使用することもあります。

入院中にご協力いただきたいこと

- ご自分で、頭の中がはっきりせず、人との会話や新聞の内容が頭に入らない、集中できないといった違和感や感覚がある場合は、看護師にお伝えください。

<ご家族へ>

- 「いつもと違う」と感じた時には、看護師にお伝えください。
- ふだん親しんでいる方がそばにいただけで、ご本人の安心が得られます。
- 時計やカレンダー、ご家族やペットの写真などを見える場所に置いてください。
- つじつまの合わないことを言っても否定しないで、気持ちを受け止めてください。

当院では、せん妄などの精神的な症状がある場合には、精神科医師、精神科認定看護師、精神保健福祉士からなる「精神科リエゾンチーム」が支援をお手伝いすることもあります。不安に思われたときは、スタッフにお気軽にご相談ください。